

“未来にやさしい空間”をつくるマテリアル

ETHICAL MATERIAL RESEARCH NOTE

エシカルマテリアルに関するご質問や共同開発のご相談、
空間デザインのご提案など、お気軽にお問合せください。

お問い合わせ 株式会社 船場 エシカルデザイン本部
ethical_design@semba1008.co.jp

ETHICAL MATERIAL RESEARCH NOTE

発行日 2022年9月
発行元 株式会社船場
企画 株式会社船場 エシカルマテリアル推進メンバー
制作 デザインエスノグラフィ株式会社
協力 情報をご提供頂いた企業・賛助会の皆様

本書掲載の原稿および写真の無断転載・複製を禁じます。
Copyright © SEMBA CORPORATION All rights reserved.



SEMBA

ETHICAL DESIGN

エシカルは、“おもいやり”でできています。

わたしたちは空間創造で培ってきた

人を“おもいやる姿勢”を、サプライチェーン全体や、

地域社会、自然環境にまで広げていく、

エシカルなデザイン活動をはじめています。



エシカルマテリアルとは？

エシカルマテリアル(エシマテ)は、

未来にやさしい空間をつくる「素材」です。

資源をつかい“素材”をつくるメーカー

素材をつかい“空間”をつくるデザイナー

空間をつかい“場”をつくるユーザー

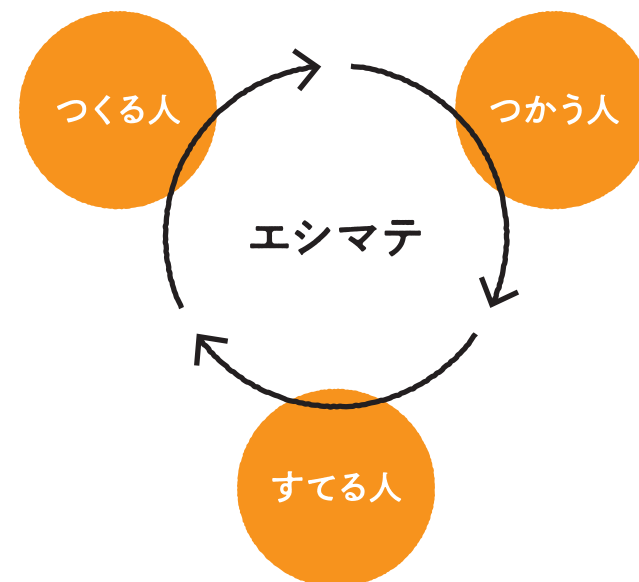
様々な視点から「素材」のライフサイクルについて考え、

未来により良いあり方を探しています。

そしていつか、その役割を終えて、すてられる時、

また新たな素材として生まれ変わらせる方法を探求しています。

「素材」の
ライフサイクル

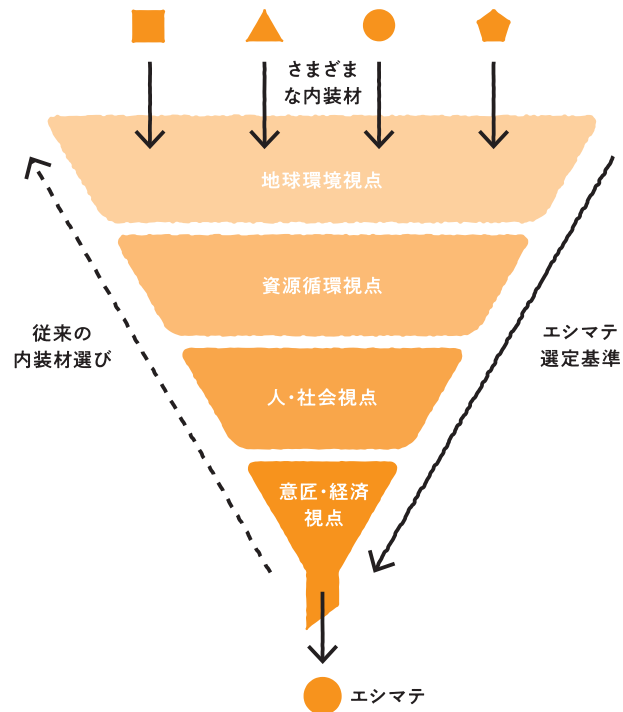


エシカルマテリアルの4つの視点

豊かな暮らしを追い求めて、環境や社会を顧みることなく営みを続けてきた結果、今、私たちは多くの課題に直面しています。それは、気候変動、大気汚染、資源の枯渇、生物多様性の損失といった環境問題、そして人の命と暮らしに関わるさまざまな社会問題です。

忘れてはならないのは、人の営みは持続可能な社会があって初めて守られているということ。そして本当の豊かさとは、美しい地球から恵まれているということ。

意匠性や経済性が重視される空間創造においても、すべての源である地球の視点から再考することで、“未来にやさしい空間”をつくる素材を抽出したいと思います。



地球環境視点

- A 自然環境との共生
- B 環境負荷の低減
- B 施工や処分時の汚染リスクの低減
- C 原材料の生産時のCO₂削減
- C 製造時の省エネ、再エネの活用
- C 製造時や流通時のCO₂削減
- D エネルギー効率を高める
- D 炭素を固定する
- D 処分時のCO₂削減



資源循環視点

- E 生分解性(植物)由来の原料を使用
- E 石油由来の原料を再生利用
- E 鉱石由来の原料を再生利用
- E 廃棄由来の原料を再生利用
- F 歩留まりの良い設計・工法が可能
- F 現場での組換え・分解・分別が可能
- F 回収時にリサイクルが容易
- G 耐久性・耐候性に優れている
- H 修繕・修理が容易



人・社会視点

- I トレーサビリティが高い
- I 地域の産業に貢献
- J 清潔で安心して使える
- J 防火・防災性能がある
- J 施工性・安全性が高い
- K 伝統技術の活用
- L 伝統工法の採用
- L 地域文化の発信



意匠・経済視点

- M 製品にストーリー性がある
- N インスピレーションが刺激される
- N 素材の質感・色味が良い
- N 意匠への汎用性が高い
- O 製造ロスが少ない
- O 差別化された特徴
- P 費用対効果が高い



※ A～Pの各エシマテ基準は一例です。

リサーチノートの続きをご覧になりたい場合は
船場HPお問い合わせフォーム、もしくは、
以下メールアドレスまでご連絡ください。
ethical_design@semba1008.co.jp

